

「杉並らしさ」とは (1/2)

校長 谷口 史雄

(順不同)

1. 兎に角、安全を最優先としている。
2. 基礎プレーを最も大切にする。
3. あくまで主体は、生徒が楽しむ、悔しがり、そして次に繋げる事を大切にする。
コーチも活動を通じ、ラグビーに出来る限り深く関わって頂く
4. 勝利至上主義ではない。
勝ちに行く姿勢は持つが、決して選ばれた選手によるものではなく、あくまで全員参加により全力を尽くし、仲間を思い助け合い勝利を目指す。
5. 自由、温かい、アットホーム的 (宮島校長の人柄)
6. あらゆる子供に居場所がある。学校とは違った支えになるものがある。
7. 国籍や身長が低い、足が遅い等身体的な事は全く関係ない。
8. 生徒の入校希望は全員歓迎。コーチも希望の方は同様に歓迎。
コーチも生徒の様々な活動を通じて体験があり、成長、感動を共にして、ラグビーをより好きになって貰っている。

「杉並らしさ」とは（2/2）

9. 例え自身がラグビー経験がなくても、生徒達のための重要なサポート、役割が沢山ある

スキル面でだけでなく、メンタル面でのサポート。チームとして一つになるための機会づくり。試合や練習のビデオを撮る、スクールが円滑に活動するための運営の仕事（総務や会計、他スクールとの交流の企画）など。そうした活動を通じて、生徒だけでなくコーチも関わりを深めていく

10. コーチングに関しては必要最低限な事だけを約束事として、基礎を大切にしながら

あまり約束事を多く決めないで、コーチ間でよく検討、協議の上、運営している

原則は自由に考えてもらう（監督、HCのスタッフから多くを指示しない）

11. 個々の生徒に応じて、丁寧に教えている事、大切にしている

12. 保護者（父親）が経験の有無を問わず、希望する方がコーチになる自由な体制の為、

コーチと保護者間の垣根も低い

13. 全てはコーチの協議体制で活動を行っている

14. OB、OGの卒業生が色々なピッチで活躍しており、オフにはグラウンドに来てくれる

スクール愛がある。ホームに戻って来てくれる文化がある

15. 活動中に高学年がスクールのリーダーとして、中学年、低学年、幼児のサポートをする場面がある